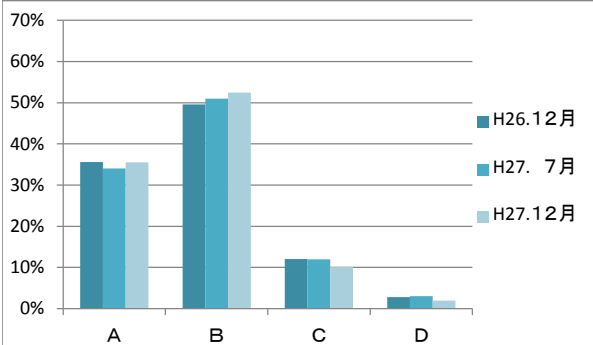


平成27年度学校づくりアンケート結果の報告

平成28年2月29日
宮崎大学教育文化学部附属中学校
校長 安藤 真二

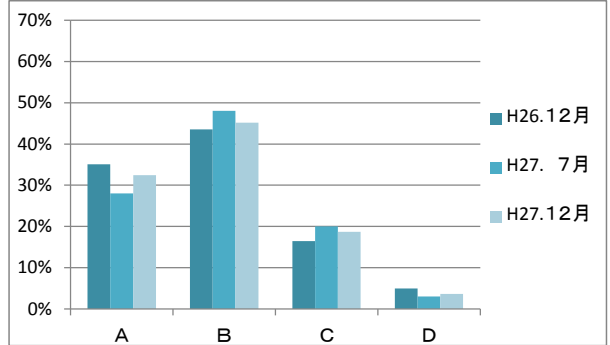
生徒集約分

項目1 自発的な学びへの手立て



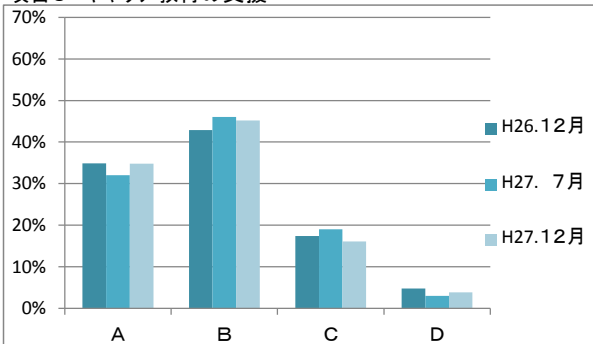
項目1		A	B	C	D
自発的な学びへの手立て	H26.12月	36%	50%	12%	3%
	H27.7月	34%	51%	12%	3%
	H27.12月	35%	52%	10%	2%

項目2 発表場面の保証



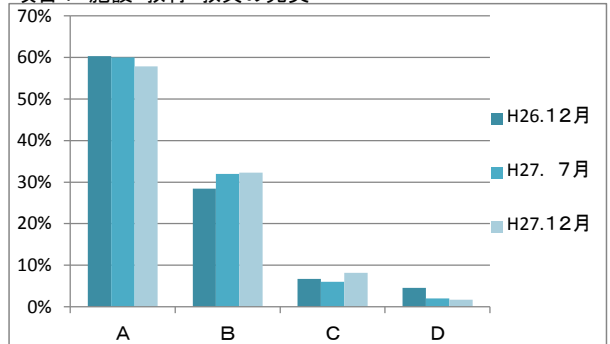
項目2		A	B	C	D
発表場面の保証	H26.12月	35%	44%	16%	5%
	H27.7月	28%	48%	20%	3%
	H27.12月	32%	45%	19%	4%

項目3 キャリア教育の支援



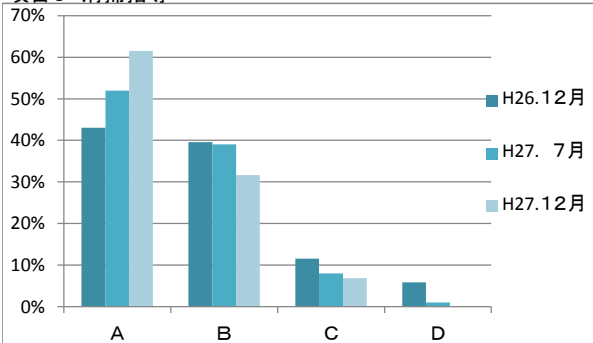
項目3		A	B	C	D
キャリア教育の支援	H26.12月	35%	43%	17%	5%
	H27.7月	32%	46%	19%	3%
	H27.12月	35%	45%	16%	4%

項目4 施設・教材・教具の充実



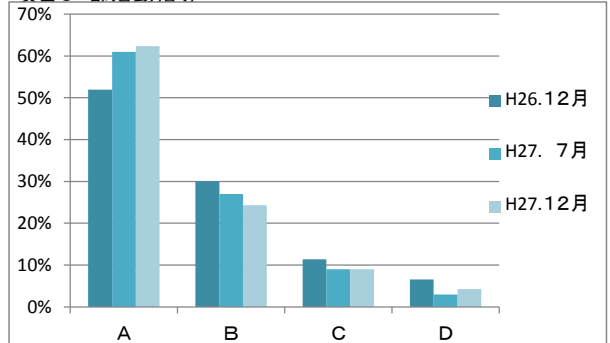
項目4		A	B	C	D
施設・教材・教具の充実	H26.12月	60%	28%	7%	5%
	H27.7月	60%	32%	6%	2%
	H27.12月	58%	32%	8%	2%

項目5 清掃指導



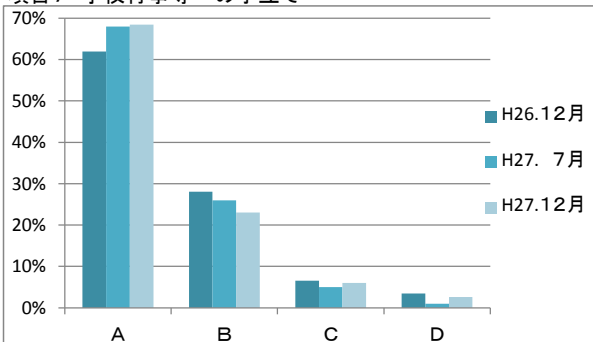
項目5		A	B	C	D
清掃指導	H26.12月	43%	40%	12%	6%
	H27.7月	52%	39%	8%	1%
	H27.12月	62%	32%	7%	0%

項目6 部活動指導



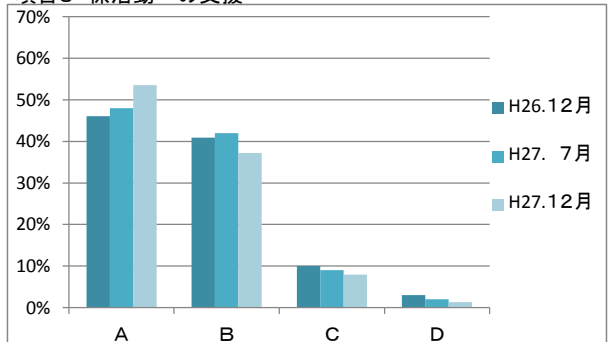
項目6		A	B	C	D
部活動指導	H26.12月	52%	30%	11%	7%
	H27.7月	61%	27%	9%	3%
	H27.12月	62%	24%	9%	4%

項目7 学校行事等への手立て



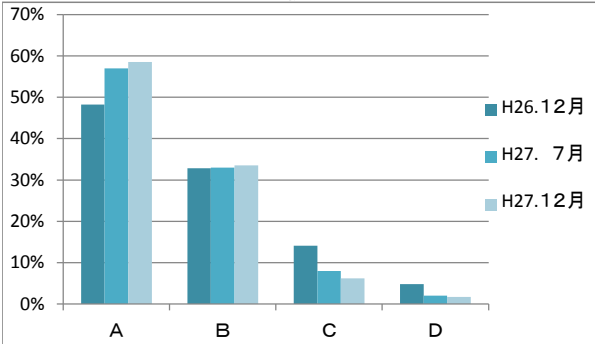
項目7		A	B	C	D
学校行事等への手立て	H26.12月	62%	28%	7%	3%
	H27.7月	68%	26%	5%	1%
	H27.12月	68%	23%	6%	3%

項目8 係活動への支援



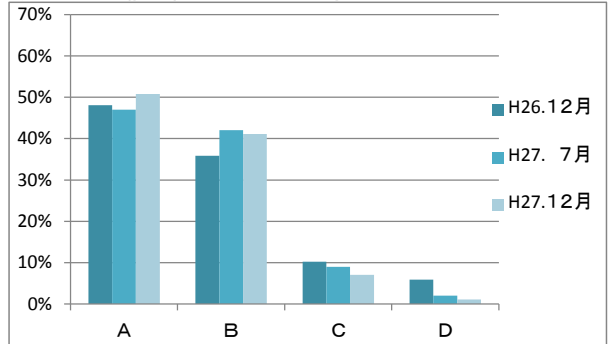
項目8		A	B	C	D
係活動への支援	H26.12月	46%	41%	10%	3%
	H27.7月	48%	42%	9%	2%
	H27.12月	54%	37%	8%	1%

項目9 人間関係づくりへの支援



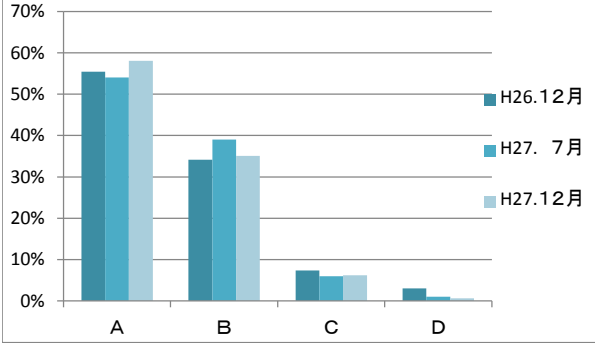
項目9 人間関係づくりへの支援		A	B	C	D
	H26.12月	48%	33%	14%	5%
	H27. 7月	57%	33%	8%	2%
	H27.12月	58%	34%	6%	2%

項目10 礼儀や言葉遣いへの指導



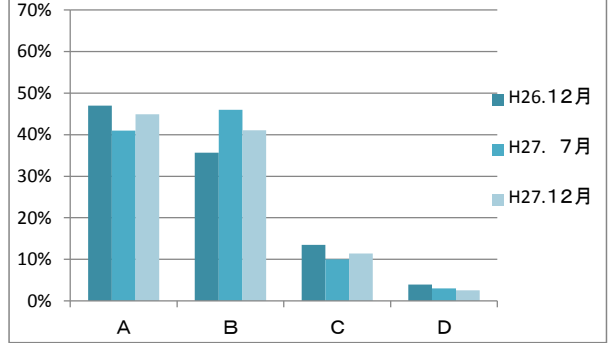
項目10 礼儀や言葉遣いへの指導		A	B	C	D
	H26.12月	48%	36%	10%	6%
	H27. 7月	47%	42%	9%	2%
	H27.12月	51%	41%	7%	1%

項目11 あいさつ指導



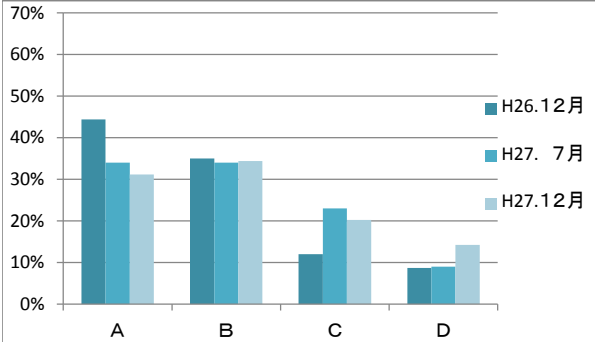
項目11 あいさつ指導		A	B	C	D
	H26.12月	55%	34%	7%	3%
	H27. 7月	54%	39%	6%	1%
	H27.12月	58%	35%	6%	1%

項目12 校外生活への手立て



項目12 校外生活への手立て		A	B	C	D
	H26.12月	47%	36%	13%	4%
	H27. 7月	41%	46%	10%	3%
	H27.12月	45%	41%	11%	3%

項目13 生徒とのコミュニケーション



項目13 生徒とのコミュニケーション		A	B	C	D
	H26.12月	44%	35%	12%	9%
	H27. 7月	34%	34%	23%	9%
	H27.12月	31%	34%	20%	14%

考察

項目5「清掃指導」、項目6「部活動指導」、項目7「学校行事への手立て」、項目8「係活動への支援」、項目9「人間関係づくりへの支援」、項目10「礼儀や言葉遣いへの指導」、項目11「あいさつ指導」については昨年度と比較して高い評価が得られています。一方で項目13「生徒とのコミュニケーション」の評価が下がっています。

これらのことから、主に生活面に対する指導の成果が現れていることが分かりました。しかしながら、悩みをもった生徒が職員に相談しやすくなるような、生徒と教師間のコミュニケーションが不足していることが分かりました。

これまで、各学年主任及び生徒指導主事を中心に、全職員が一枚岩となって指導を行ってきた成果として、あいさつ、時間、無言（集団行動での）といった集団としての規律や秩序づくりが進み、宮大附属中ならではの質の高い学習指導、生活指導の基盤を整えることができました。今後は生徒自身の自治的な取組へと高めていくためにも、生徒との信頼関係の構築に一層努め、次の段階の生徒指導へと質的転換をしていかなければならないと考えます。

継続的に実施してきた「学校づくりアンケート」をとおして生徒や保護者の皆様方の意識調査をおこない、現在の本校の課題を把握することができました。また、貴重な御意見もたくさんいただきました。これらを基に、来年度へ向けての改善を確実に進めて参ります。

今後とも御理解・御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

※ 分析は、生徒評価を中心に、保護者評価も参考にしながらおこないました。